

# あずま小学校だより

学校通信 第5号 平成28年6月14日  
学校教育目標 よく考える子 思いやりのある子 たくましい子



## 夏到来! ~プール開き~

6月2日(木)まぶしい太陽の下、プール開きが行われました。5・6年生がきれいに掃除してくれたプールを全校児童で囲み、今年のプールの学習が安全に行えるよう気持ちをひとつにしました。6年生の模範水泳に大きな拍手がわきました。



児童代表のことば

### 3年 A. N

私はプール開きを楽しみにしていました。2年生の時は、けのびやイルカをしました。むずかしかったのは、20秒間もぐることです。息が苦しくなってしまうからです。がんばって全部できようになりました。3年生では、大きいプールに入れるので、今からとても楽しみです。大きいプールでクロールをしたいです。まず、プール横幅を泳げるようにして、そのあとに、プールのたての幅を泳げるようにするのが今年の目標です。平泳ぎも挑戦したいです。平泳ぎは、手と足の動きがむずかしいのでたくさん練習して、上手に泳げるようにがんばりたいです。みんなと楽しくプールの時間を過ごしたいです。

### 6年 N. R

いよいよ待ちに待ったプール開きの日がやってきました。今年は、ぼくたち6年生にとって小学校最後のプールになります。ぼくの今年の目標はクロールで100m泳げるようになることです。理由は、5年生の時100m前で息がもたなくなってしまう、100mを達成できなくて、悔しい思いをしたからです。今年こそ100mを超えるようにがんばっていきたいです。皆さんもぜひ今年の目標を立てて、がんばってください。それから、みんなですぐプールのマナーを守り、安全で日本一笑い声の多い、日本一「楽しい」の声があふれる楽しいプールにしましょう。



## あずまをもっとよくする「ふるさと集会」



6月10日(金)第1回ふるさと集会が開かれました。野菜の栽培の授業でお世話になっているS. Kさんをゲストに迎え、児童会の代表からのインタビューに答えていただきました。発展するあずまをさらに良くするために、一人一人が何をすればよいかなど、元気になるお話をしてくださいました。

地域にお住まいの方から「あずま小の子どもたちがよくあいさつしてくれる。登校途中にごみを拾っているのを見かけた。」とうれしい声も届きました。

# 6年生による「後輩に教えようプロジェクト」

6年生が後輩たちに教えてくれるプロジェクトが開始されました。5月26日(木)は3年生に習字を、5月31日(火)には1年生に絵本の読み聞かせを、6月9日(木)には4年生に漢字辞典の使い方をマンツーマンで、ていねいに教えてくれました。6年生の頼もしい顔、下級生のうれしそうな顔がたくさん見られました。プロジェクトはまだまだ続きます。



## 親子のふれあい体験は未来に影響

「ホットケーキで『脳力』が上がる」川島隆太(小学館)の内容を紹介、第三弾です。

「親子でホットケーキ作り体験し、その中でできるだけ意識して親が子どもをほめて認めるということをするすることで、親子の情緒的交流が深まり、子どもの状態が改善され、親子の育児ストレスも軽減されることがわかりました。」と書かれています。

まず、現在の幸福感を見る調査をした上で、子どもの頃に親とどのような関わりをどの程度したかということ調べました。

そしてわかったのは、「子どもの頃に親とホットケーキ作りをした経験がある」「親子でおやつ作りの経験がある」「食事の手伝い経験がある」と答えた人は、そのような経験がない人に比べて、いずれも幸福感、特に心の健康度に優位な差があるということでした。

たとえば、「親子でホットケーキ作りを経験がある」と答えた人たちが、どのような項目で心の健康度が高かったかという、「人生に対する前向きな気持ち」「達成感」「自信」「至福感」「近親者の支え」「社会的な支え」といった項目で、統計的に優位な差が認められました。

こうした結果から、子ども時代に親と一緒にホットケーキ作りやおやつ作りなどをしたり、食事の手伝いをしたりするなど、食を通した親子のふれあい体験が、その後の心の成長に良い影響を及ぼすことが明らかになったのです。

そのように育った子どもが成長して大人になったときに幸せに暮らしている確率が高くなる。つまり、親の願いがかなうということにほかなりません。

休日に親子でホットケーキ作り、いかがでしょうか？



### ※エコキャップ回収終了のお知らせ

これまでJRC委員会の活動でエコキャップ回収を行っていましたが、業者による回収ができなくなったため、6月末をもって終了させていただきます。長い間ご協力ありがとうございました。

